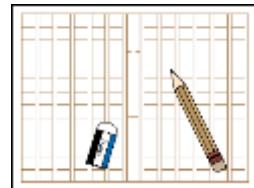


令和 7 年度



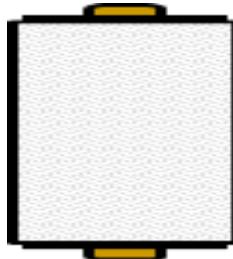
第 44 回

全国中学生人権作文コンテスト表彰式

令和 8 年 1 月 22 日(木)午前 10 時 40 分～ 於：本校 2 階応接室



法務省：全国人権委員連合会 主催



調布市人権擁護委員作文コンテスト審査会 優秀賞

1 年 T・S 1 年 N・K



おめでとう



人権作文
とは

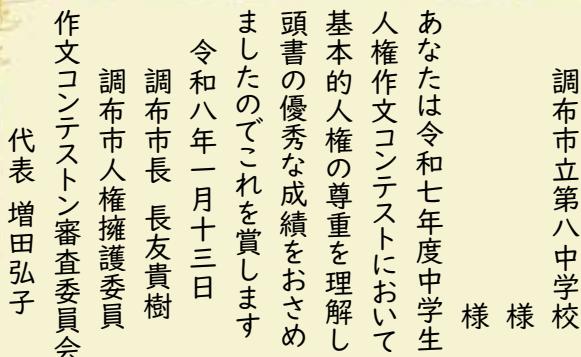
法務省と全国人権擁護委員連合会では次代を担う中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和 56 年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。令和 7 年度は、6,377 校の中学校（特別支援学校を含む）から、721,058 編もの応募がありました。

調布市人権擁護委員と市民相談課職員の方が本校に来校され表彰式が行われました。

1 年生 2 名
優秀賞??

賞状と記念品が授与されました。

おめでとう



あなたは令和七年度中学生
人権作文コンテストにおいて
基本的人権の尊重を理解し
頭書の優秀な成績をおさめ
ましたので、これを賞します

令和八年一月十三日

調布市長 長友貴樹
調布市人権擁護委員
作文コンテスト審査委員会
代表 増田弘子

目的

次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けること及び、入賞作品を国民に周知広報することによって広く一般に人権尊重思想を根付かせる。